



<夏休みも元気いっぱい活動中です。>

統合2年目の1学期が終了しました。本校は地域の方々のご支援、松戸市内の中学校、また松戸市、消防署、社会福祉協議会、松戸警察、松戸保健所等関係諸機関のご協力により、順調に成長しているところです。ホップ・ステップ・ジャンプと言いますが、地域連携の事業も少しずつ拡大しており、ステップアップできているように思います。

ホームページでも紹介させていただいておりますが、赤ちゃんとのふれあい体験、太巻きずしの講習会、進路講演会への講師等で多くの地域の方々が協力してくださいました。本校を会場にグランドゴルフの大会が開かれたり、公開授業に中学生や先生方に来ていただけたりと、相互交流も深まっています。今年は一歩進めて、本校の先生方による開放講座「親子であそぼう」を開講しました。その様子をお伝えします。ご近所さんもしらっしゃるかも知れません。

2012/07/31 開放講座 親子でパンづくり

開放講座1日目、「親子でパンづくり」講師は、本校家庭科の教員3名、アシスタントとして家庭科（フードデザイン）の授業を選択している生徒2名が手伝ってくれました。手順は、①生地をこねる、②一次発酵、③分割、④ベンチタイム、⑤成形、⑥発酵、⑦焼く ですが、参加した小学生の皆さんは、とっても上手につくりあげていましたね。こねる作業や、食器類を洗う作業を親子で協力して行っている場面をみて、今回の開放講座の目的は十分に達成できたものと思われます。それぞれの皿に盛られた焼きたてパンは、すべてなくなっていました。完食です。やはり、自分でつくった、しかもつくりたてのパンはおいしいものです。小学生の皆さんからは「初めてパンづくりをして、おいしくできてよかった。いい経験になった。」、「むずかしい場面もあったけど、たのしかった。」等、また保護者の方からは、「パンは買う物だと思っていたが、身近なものになった。今度家でつくってみようと思う。」、「講師の先生から、パンづくりのちょっとしたコツを教わった。今後、生かしてみたい。」、「本当のパンづくりを子どもに伝えることができてよかった。」等の感想をいただきました。



2012/08/01 開放講座 親子で絵本の読み聞かせ

開放講座2日目。絵本研究部の生徒のアシスタントで第1部では、「絵本の読み聞かせ」を行いました。絵本研究部による「かにむかし」のダンボールシアターも披露されました。第2部は、工作です。参加した小学生にマジックスクリーンをつくってもらいました。「マジックスクリーンの原理がわかってよかった。」、「たのしかった。よい経験ができた。」などの感想があり、ほとんどの小学生に満足してもらったのではないかと思います。絵本の読み合いや工作など、今日も親子でふれあう場面がかなりみられました。



2012/08/02 開放講座 親子でおもしろ理科実験

今日は、「おもしろ理科実験」を本校職員2名が担当しました。最初は、「色の変化で楽しもう」ということで、レモン水や洗剤など、身近なものが、色を変化させる不思議さを味わいました。花火の仕組みも理解できたのではないのでしょうか。また、厚紙を使ったブーメランとホイッスルづくりでは、参加した児童も、保護者の方も真剣そのものでした。後半は味覚、視覚等、感覚器についての内容を扱いました。担当職員が質問すると、参加した児童の手が一斉に上がり、自分の意見を堂々と話していた姿をみて、今日を含めた3日間子どもたちのすごさ、すばらしさに感動しました。ギムネマ茶を飲んだ後に口に入れたチョコレートの味に、「えー、どうして」との声が上がりました。工作で首振りドラゴンをつくって、実験しました。視覚の内容のところであつかったものですが、とても不思議がっていました。15,000Hzの音を鳴らした実験では、子どもたちからは「聞こえる」との言葉が発せられていました。ミラクルフルーツをつかって、すっぱさを感じないときのレモンの味に、「あーい」と驚きの声が聞こえてきました。今日も親子でふれあう場面がたくさんありました。



自由研究のヒントになればいいのですが。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。

福祉教育の推進に向けて

2012/08/04 高等学校産業教育フェア

8月3日、4日現代産業科学館を会場に、高等学校産業教育フェアが開催されました。千葉県内の産業関係学科の高校生たちが、日頃の学習成果を元気いっぱい紹介するものです。本校は、点字体験、シニアカー乗車体験のお手伝いをするとともに、福祉用具やパネルを展示しました。「専門高校の学びを～見て、触れて、体験しよう～」がテーマです。来場していただいた多くの児童、保護者の方に感謝申し上げます。また、体験のお手伝いを担当した生徒の皆さん、お疲れ様でした。



他の学校でも、缶バッチ作り、プラバンキーホルダー、名刺づくり、包帯・ばんそうこうを使った体験、わらざいくづくり、科学と電気のたいけん、木で何かをつくれるよ等、魅力ある体験コーナーが設けられ、どこも盛況でした。



ファッションショーも披露されていました。10時と14時の2回の公演がありましたが、慣れたせいか、2回目の方が断然よかったと思いました。身につけていたファッションは、自分たちで製作したものとのことです。とてもよい企画ですね。

2012/06/11 福祉教育拠点校準備会議

第1回目の福祉教育拠点校準備会議が本校の会議室で行われました。本校は、平成25年度から福祉教育の拠点校として、県全体の福祉教育の充実を図るという重責を負っています。会議の中でいただいた数々の貴重なご意見を生かし、拠点校としての準備を進めていきたいと思っています。



平成25年度から、本校普通科に福祉コースが設置されます。

福祉教養科では介護福祉士の資格取得、福祉系大学への進学等、より専門的な福祉について学びます。

普通科においては1年次に「社会福祉基礎」という授業を週2時間全員が受講します。共生社会の実現に向けて、介護の面だけでなく、広く福祉を学ぶことが必要ということと、豊かな心の育成、福祉マインドの育成という意味があります。本校の校訓「向学・自立・共生」の3本柱が、教育課程の上でも実現に踏み出すことになります。

「いじめ」が問題にされていますが、自分自身の尊厳を自覚し、人権尊重の意識をしっかりと根付かせ、体験をとおして一人の人間の命の重みや価値をしっかりと受け止められるようになってほしいと思います。

福祉教育の目的は、単に資格取得ができればよいというものではありません。豊かな心、人間理解に基づいて初めてその資格が生きてくるのです。

松戸向陽高校は、生徒も、職員も、保護者も一歩ずつ成長していく学校です。皆様の応援をこれからもよろしくお願いいたします。